



★これまでの上五明条里水田址の調査

本遺跡は千曲川左岸の氾濫原上に位置しています。これまでに、坂城町教育委員会や当センターにより発掘調査が実施され、平安時代の水田跡や集落跡、古墳時代の集落跡などが確認されています。

過去の調査では、^{にんな}仁和の洪水（888年）に由来すると考えられる千曲川の洪水砂層に覆われた水田跡や、9～11世紀の集落跡が発見されました。集落からは、^{てつたく}鉄鐸や^{すず}鈴、^{はちりょうきょう}八稜鏡、^{えんめんけん}猿面硯等の珍しい遺物がみつかっています。

今回の調査では、現在までに竪穴建物跡17軒を主体とした平安時代の集落跡を確認しました。今後、どんな発見があるのか楽しみです。



竪穴建物跡（SB01）完掘状況



竪穴建物跡（SB05）遺物出土状況



調査範囲遠景（北西より）荒井初彦氏 撮影



調査風景

★「暗文（あんもん）」のある土器を発見！！

平安時代の竪穴建物跡（SB10）から、花卉状の暗文のある土器が見つかりました。

出土した土器をよく見ると、内側表面にうっすらと線で花びらのような模様が描かれているのがわかります。暗文は、土器を乾燥させる過程で表面を篋のような工具で磨いてつけられます。

花卉状の暗文は、椀や^{つぎ}坏などの食器に施されていることが多いですが、なぜこのような暗文が施されたのでしょうか？

一説には、平安時代の高級食器である、磁器の椀に描かれている花びら文様を模したのではないかとされています。磁器は、当時の最高級品の食器であり、使用できたのは高位の人々のみでしたので、庶民が使う食器のもその美しさを表現しようとした創意工夫の現れなのかもしれません。



「暗文（あんもん）」のある土器



かがみちゃん

調査研究員 3 名と、
作業員さん 18 名で
今日も元気に調査中です！

上五明条里水田址発掘たより 第 1 号
2021 年 11 月 26 日発行
長野県埋蔵文化財センター
長野市篠ノ井布施高田 963-4
T E L : 026 - 293 - 5926
H P : <http://naganomaibun.or.jp/>
(担当：寺内貴美子 大竹憲昭 水科汐華)